参考様式B4（自己評価等関係）

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　5年　12月　14日　　事業所名　　チャイルドハート東海津北

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		利用定員数10名に対して必要な規定面積の約3倍ある	
	2	職員の配置数は適切である	5		日ごとに人員配置の確認をしている	全指導員が人員配置を理解している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	現在バリアフリーを必要とする利用者がいない	必要に応じて対応していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		親子イベント等のアンケートを保護者に実施している	今後も保護者アンケートを実施し、できる限り保護者のニーズに対応していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		各分野の本部研修や県の主催する研修に参加している	研修に参加できる時間を確保し、全指導員で共有していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		普段から保護者との連携を図り、子どもの姿を共有している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		季節に応じた活動も取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		休校日にしかできない活動も取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5		活動の幅を広げ、様々な経験ができるようにしている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日支援開始前に打ち合わせをしている	今後も支援開始前の打ち合わせを行い、支援内容や連絡事項の情報共有、役割分担をおこなっていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎日支援終了後には全職員で振り返りをし、情報共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		個別支援日誌を毎日書いている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		半年毎に全職員でモニタリングを行い、個別支援計画を作成している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		個別支援計画を作成する児発管が参加している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		学校との連携をはかり、子ども、保護者が安心して利用できるようにしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5		今までに医療的ケアが必要な子どもの受け入れをしたことがない。必要な場合には連携を図っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		5		小学校との情報共有は行っているが就学前に利用していた保育等には行っていない。必要な場合には行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5		放課後等デイサービスから移行する場合には障害福祉サービス等から問い合わせがあった際には情報提供していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5	必要な場合には受診に同行し医師から助言を受けている	必要に応じて専門機関と連携していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			コロナ前には小学校にて学童とや地域の子どもとの交流があったが、現在は感染防止の為機会がなくなっている
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時や連絡ノートでその日の様子を伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	5		本部主催のペアレントトレーニングがある	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	親子イベントを企画したが学校行事と重なった利用者が多く、今年度は中止した	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月家庭に通信を配布している	
	35	個人情報に十分注意している	5		個人情報は鍵の付いた棚で保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		各種マニュアルを作成している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎年避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止犬種に参加している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			身体拘束を必要とする利用者がいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		該当者がいる場合、全指導員の共通理解に努めている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		事例があった場合には書類を作成、全指導員で共有している	